

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国語】

- 目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめて書く力が身に付いている。
- 文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけ、読み取ることができている。
- 資料の情報をどのように整理しているかを理解し、活用することに課題がある。

#### 【算数(数学)】

- 小数や( )を用いた式や加法と乗法の混合した式についての計算力が身に付いている。
- 複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する問題の理解がよくできている。
- 目的に応じてデータの特徴を捉えて考察する問題にやや課題が見られる。

### 2 児童質問紙に関する結果の概要

- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとする力が身に付いている。
- 家で自分で計画を立てて勉強する力が身に付いている。
- 学習したことを日頃の生活の中で活用しようとする意識が身に付いている。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識に課題がある。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・日常的に自分の考えを書く活動を取り入れた授業改善を全校で推進
- ・算数科の重点单元における少人数指導の実施
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導(「言葉の特徴や使い方」,「数と計算」)

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・情報と情報との関係づけの仕方を理解し活用できる国語科の授業づくりと、表現や交流活動を位置付けた「対話的な学び」のある授業づくりの推進
- ・すくすくタイム(個別支援学習)の課題の内容の見直し
- ・ICTを活用して、定着が不十分な内容の復習問題に何度もチャレンジする「はたえ寺子屋」の設定
- ・全校でのグッジョブプロジェクト(自分の考えを書いて説明する力を高める)の推進

#### (2) 児童質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施
- ・全校でのグッジョブプロジェクトの取組(ノート名人の掲示,放送等)

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・予習を取り入れた宿題や、ミライシードの宿題ドリルを活用した復習の充実を図る。
- ・学習したことが生活場面で活用できるような課題設定の場を設ける。
- ・学校生活や学習において児童が「自己決定」しての目標に取り組むための支援の推進